

2014年度 研究助成募集要項

1. 本年度の研究助成対象

日本人の食生活の変化とともに、冷凍食品が多方面で活用されるようになり、日本国内における生産量も平成22年度より年々増加してきている。また、海外からの冷凍食材の輸入量も増加の一途をたどっている。こうした中で、家庭用の冷凍食品の数量の伸びが顕著であり、それとともに、低温耐性菌による食中毒等のリスク回避をするためのHACCP支援法に基づく冷凍食品の高度化基準なども設定されている。しかしながら、流通業者、小売店、一般家庭での冷凍食品のリスク管理は、まだまだ、十分とはいえない。そこで、こうした低温耐性菌による危害の発生を防除し、公衆の一般衛生の向上に寄与するため、必要な防除法の研究を支援することとしたので、低温耐性菌に関連した研究を、以下の要領で、募集します。

2. 助成の金額と件数

助成金額 100万円/件
助成件数 3件

3. 助成研究の対象期間

原則として、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの1年間とします。ただし、必要と思われる理由の申請を財団に行い、認められた場合には、さらに6ヶ月間、助成研究の期間を延長することができます。

4. 募集条件

- 1) 国内の大学または研究機関の研究者からの応募を受け付けます。
- 2) 研究助成申請にあたっては、応募者の所属機関の長の承諾を得ていることを前提とします。
- 3) 同一の研究について、他の財団等の助成金を受けていないこと。また、本年度の当財団の研究助成に複数または重複して応募することはできません。
- 4) 同一の研究テーマであっても、複数年に亘る継続研究を応募することもできるが、3年間を限度とします。
- 5) 助成金は、研究に直接関わる費用とし、応募者本人及び共同研究者の人件費および所属する機関の間接経費や共通経費、あるいは一般管理費等は含みません。

5. 応募方法

- 1) 所定の申請書に（様式1を参照してください）、必要事項を記入し、郵送または、メールに必要資料を添付の上、当財団に提出してください。
- 2) 申請書は、返却をいたしませんので、必要のものは複写するなどして、控えをご準備ください。

6. 選考方法
当財団の選考委員会において、研究内容を吟味の上、選考します。
応募数が多い場合は、研究助成申請の要旨により、1次選考を行います。
1次選考を通過した研究テーマは、研究助成申請書により、2次審査を行い、決定します。
7. 応募期間
平成25年8月1日から平成25年11月30日まで（当日消印有効）
8. 選考期日
平成25年12月から平成26年1月までに、当財団選考委員会に諮り、選考します。
9. 内定通知
平成26年2月初旬に、助成対象者に内定通知します。
10. 助成金交付
平成26年3月末頃、採択研究者に研究助成金を交付します。
11. 知的財産権及びノウハウに関する権利
本研究の成果物たる特許権その他の知的財産権及びノウハウに関する権利は助成対象者および当財団の共有とし、出願手続等の費用負担は折半とする。
12. 報告の義務
 - 1) 研究終了後、3ヶ月以内に、「研究実施概要報告書」を作成し、当財団まで提出してください。
 - 2) 研究助成金に関連して使用を証する領収書、受領書等の関連書類を、内容が分かるように整理し、助成研究テーマ並びに研究者名を記した領収書綴りとしてまとめ、当財団まで提出してください。
 - 3) 助成金の採用内定を受けた後、研究計画等に重要な変更をしようとする場合には、文書にて、当財団まで報告をしてください。
 - 4) 当財団の定める年次事業報告等に、提出された報告書に関する事項・内容などを掲載しますので、あらかじめ、ご了承ください。
 - 5) 当財団が主催するなどのシンポジウム等で、研究成果の発表を依頼することがあります。
13. 個人情報の取り扱い
 - 1) 研究者の個人情報は、研究成果の利用目的の範囲内で、かつ業務遂行上必要な範囲内で、利用することがあります。
 - 2) 法令等の定める場合を除き、事前に本人の同意を得ることなく、個人情報を第三者に提供することはいたしません。
14. 問い合わせ及び申請書提出先
〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園1-12-13
大下産業株式会社内
一般財団法人 大下財団 吉島事務局長 宛
電話 082-871-1111（代）
FAX 082-875-5555（代）
担当者E-mail yoshijima@osimo.co.jp